技術士業務研究会／2026 年（令和 8 年）12 月度 特別例会

☆開催日時：2026 年（令和 8 年）12 月 11 日(金）18:30～

☆開催場所：大阪科学技術センター 会議室 402 号　　対面と Web のハイブリッド方式

（1）12 月特別例会　ご挨拶（18:30～18:35）（5 分）

見学会報告、会員状況、講師・見学先の選定状況、幹事就任のお願い

（2）講演　（18:35～19:40）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

ご講演テーマ：　『 兵庫の漁業と栄養塩類管理の取組 』

講師：　兵庫県環境部　水大気課　豊かな海再生推進官　　藤　克浩　氏

【概要】

兵庫県は、瀬戸内海と日本海に面して漁業活動が営まれる全国有数の水産県です。しかし近年、その豊かな海を取り巻く環境は大きく変化しています。かつての公害による水質悪化を長年にわたる排水規制等により克服してきた一方で、現在では、栄養塩類の不足という新たな課題に直面しています。

この課題に対応するため、兵庫県では全国に先駆けて独自の取組を進めてきました。

2019 年には県条例により「望ましい栄養塩類濃度」の下限値を設定し、さらに 2022 年には全国初となる「兵庫県栄養塩類管理計画」を策定しました。現在、この計画に基づき、海域の良好な水質を維持しながらも、生物生産性維持のため必要な栄養塩類を適切に維持することを目的とする取り組みを進めています。

講演冒頭では、豊かな海の再生による漁業資源の回復を求める漁業者の現状に対する理解に資するよう、兵庫県で営まれる漁業の概略をご紹介します。

主題として、兵庫県栄養塩類管理計画の策定の経緯と、取組内容の主となる下水処理場や工場・事業場による栄養塩類増加措置の概要、取組の現状をご紹介します。

また、漁業者や地域住民が主体となった豊かな海づくりを目指す活動として、ため池の「かいぼり」による栄養塩供給、海底耕うん、有機肥料を用いた施肥、藻場や干潟の再生、森づくり活動などの概要に触れ、環境保全と生物生産性を両立させた豊かな海づくりと、それを次世代へ引き継ぐために、行政、研究機関、漁業者、企業、各県民が行動する取組事例をご紹介します。

（3）懇親会　（20:00～22:00）

『　目利きの銀次 肥後橋駅前店　』　　会費；　5，０００円

住所；　大阪府大阪市西区江戸堀 1-3-15 新石原ビル 地下 1 階

大阪科学技術センターより北へ徒歩１０分ほど

地下鉄四つ橋線・肥後橋駅の 5-B の出口と直結。 新石原ビルの地下 1 階です。

（地図）　目利きの銀次 肥後橋駅前店 - Google マップ

申込締切：　２０２６年１２月８日（火）までに下記のＵＲＬからお申し込みください。

お申し込みＵＲＬ：　https://sites.google.com/view/gyoumuken

【講師経歴】

ご氏名

藤　克浩（ふじ　かつひろ）氏

＜ご学歴＞

昭和 63 年 4 月	東京水産大学　水産学部　資源育成学科　入学
平成 4 年 3 月	東京水産大学　水産学部　資源育成学科　卒業

＜ご職歴＞

平成 4 年 4 月	兵庫県入庁　洲本農林水産事務所水産課
平成 7 年 4 月	県庁農林水産部漁港課（沿岸漁業構造改善事業担当）
平成 13 年 4 月	加古川農林水産振興事務所水産漁港課
平成 17 年 4 月	県庁農林水産部水産課（漁業制度資金担当）
平成 20 年 4 月	県庁農林水産部総合農政課（研究調整担当）
平成 22 年 4 月	県庁農林水産部水産課（漁場保全担当）
平成 26 年 4 月	東京事務所
平成 29 年 4 月	県庁農林水産部水産課（組合指導担当）
平成 31 年 4 月	洲本農林水産事務所水産課長
令和 3 年 4 月	県庁農林水産部漁港課副課長
令和 4 年 4 月	県庁農林水産部漁港課漁場整備班長
令和 5 年 4 月	県庁農林水産部漁港課副課長
令和 7 年 4 月	但馬水産技術センター次長
令和 8 年 4 月	県庁環境部水大気課豊かな海再生推進官

◇例会参加費　技術士業務研究会会員：無料　技術士業務研究会非会員：今回無料
近畿本部パスポート保持者：無料
（日本技術士会近畿本部合格者祝賀会に参加された新合格者に配布）

◇懇親会参加費　５，０００円(飲み放題付き)

◇申　込　下記 HP からお申し込みください。メールでの申し込みは不可。
業務研ＨＰ：　https://sites.google.com/view/gyoumuken

ご注意事項：

懇親会を欠席される場合は、２日前の 12 月 9 日(水)までに幹事（丸山　090-5773-2154）にご連絡ください。当日キャンセルの場合は、後日キャンセル料をいただきます。

以上